

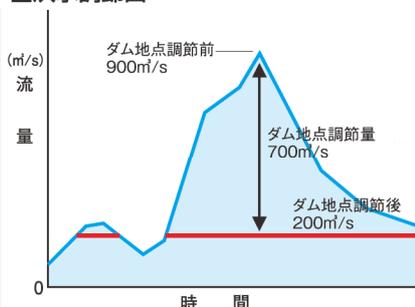
# 大石ダムの治水事業

大石ダムは洪水調節と発電を行うことを目的とする多目的ダムで、昭和53年に完成しました。発電は、大石発電所において、最大使用水量15.0m<sup>3</sup>/sで、最大出力10.900KWの発電を行っています。

## ■ダム諸元

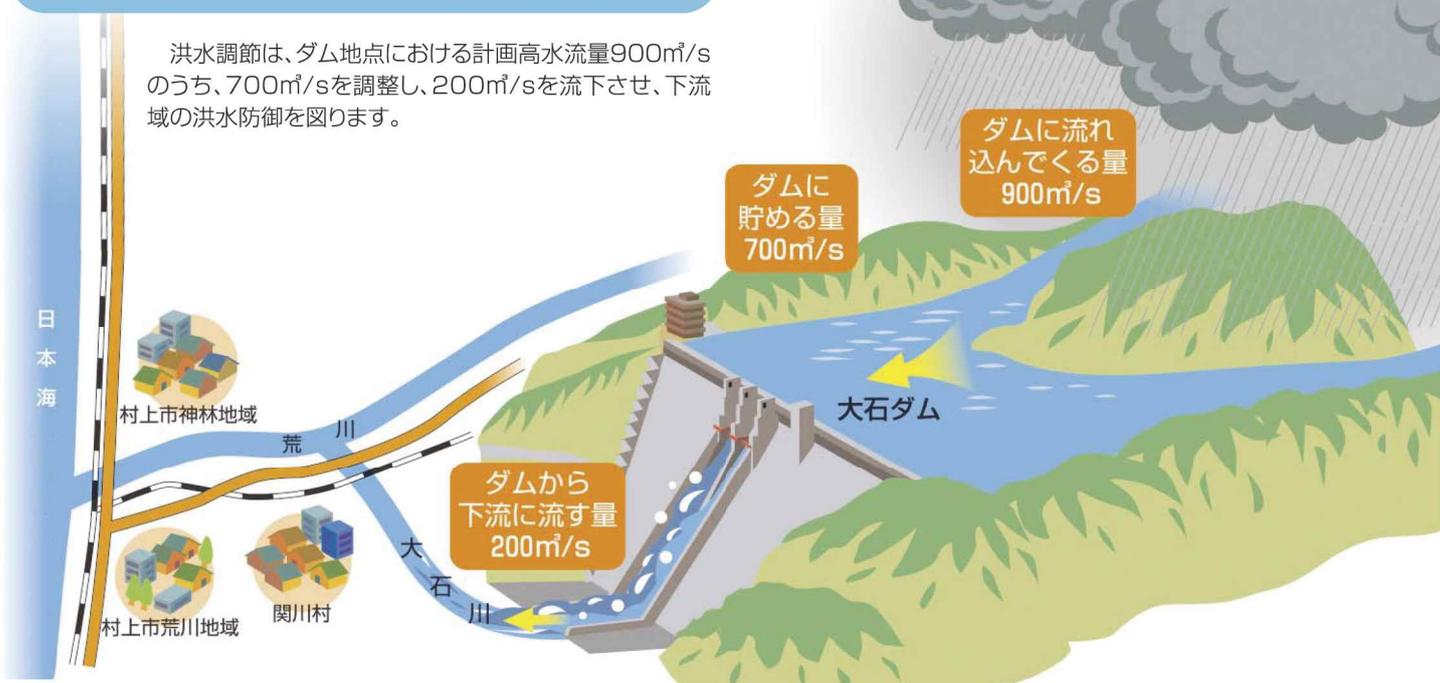
型式	重力式コンクリートダム
目的	洪水調節、発電
堤頂高(標高)	EL.187.0m
堤高	87.0m
堤頂長	243.5m
堤頂幅	6.5m
堤体積	400,000m <sup>3</sup>
基盤地質	花崗岩
堤体法勾配	下流面 0.82 上流面フィレット 0.70

## ■洪水調節図



## 防災操作(洪水調節)の仕組み

洪水調節は、ダム地点における計画高水流量900m<sup>3</sup>/sのうち、700m<sup>3</sup>/sを調整し、200m<sup>3</sup>/sを流下させ、下流域の洪水防御を図ります。



## 大石ダムの資料室 大石ダムインフォメーションハウス

大石ダムインフォメーションハウスは平成元年にオープンしました。

大石ダムの情報・役割を知ってもらう為にパネルやダム周辺の模型などが設置されています。



## ダム水源地域ビジョン

大石ダムでは平成16年度にダムを活用した水源地域の自立的・持続的な活性化とバランスのとれた流域の発展を目的とした「大石ダム水源地域ビジョン」を策定しました。



大石ダム湖畔まつり



おおいし・どもんご祭り

## 大石ダムHP

<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/contents/dam/ooishi/index.html>

